



### ▶ 神崎かるたで地域を再発見

神崎地区の歴史や文化、自然を伝える「神崎かるた大会」が3月16日、旧神崎小学校で行われました。神崎かるたは、同校の卒業生と生涯学習グループSKY舞鶴クラブが地域の魅力を伝えようと作製したもの。

当日は小・中学生や地域の人約80人が参加し、かるた大会をはじめ、地元の伝説を紹介する紙芝居や校歌の合唱などで1日楽しく過ごしていました。

かるた大会では、佐藤みづきさんが優勝。「かるたを通じて知らないことがたくさんあった。新しい発見があっておもしろい」と話していました。



01. 熱くなったかるた大会の決勝戦 02. 全員で記念撮影



01. あかまつ  
02. くす玉を割って祝う  
03. あおまつ

### ▶ KTRの新型車両が運行 沿線でもお出迎え

KTRの新型車両「あかまつ」「あおまつ」の運行が4月14日に始まりました。当日、西舞鶴駅で出発式が行われ、車両をデザインした水戸岡鋭治さんなど約200人が出席。くす玉を割って初運行を祝いました。

1日駅長に任命された岸田爽君（高野小6年）の合図で両車両が出発。今後、京都北部のまちおこしや観光振興のPRに活躍します。

#### 《みんなで手を振ろう〜ウエルカム丹後〜》

4月12日に行われた「あかまつ・あおまつ」体験試乗会の運行に合わせて、八雲・岡田保育園の園児40人が東雲駅でお出迎えをしました。同車両を見かけたら手を振って乗客を歓迎する「ウエルカム丹後」の一環で行ったもの。

園児たちは元気いっぱいの声援を送っていました。

04. 新型列車あかまつとあおまつを元気に見送る園児たち  
05. KTR 東雲駅の前でみんなで記念撮影



### ▶ ふるさと加佐を駆け抜ける

3月17日、「ふるさと加佐ロードレース」が大庄屋上野家の発着で行われ、好天のなか約140人のランナーが参加しました。同大会は地元の実行委員会が主催する大会で今年で10回目。

参加者は3\*と5\*の種目に分かれ、自然豊かな加佐地区のコースを走りました。また、ロードレースのほかに、短距離競走なども行われ大いに賑わいました。



01. 青空のもと号砲と同時にスタート  
02. サブイベントの短距離競走  
03. ヒーローも参加!?



▲報告後に市長と一緒に記念撮影

### ▶ ポーツマス市で英語研修

3月16日～25日まで姉妹都市ポーツマス市（英国）を訪問していた青少年英語研修参加者が帰国。3月29日、報告のため市役所を訪れました。研修に参加したのは、高校生7人、中学生4人の11人。

参加者たちは、「日本と英国の文化の違いにおどろいた」「将来のことを考える手がかかりになった。いろんな人に感謝したい」など海外生活で感じたことや今後の抱負、旅の思い出などを話していました。

### ▶ 国際交流員に李さんが着任

友好都市・大連市（中国）出身の李明熹<sup>りめいき</sup>さんが国際交流員として着任。4月12日に多々見市長から辞令を受けました。国際交流員の配置は、平成17年度から実施しているもので、李さんで9代目。

来々4月までの1年間、舞鶴・大連両市の友好都市交流の橋渡し役や京都舞鶴港の振興業務、市民交流の支援などさまざまな活動に取り組みます。

辞令を受けた李さんは「料理教室などを通じて食文化の交流にもチャレンジし、両市市民の相互理解を深める活動を展開したいです」と抱負を語りました。



▲辞令交付後に市長と歓談